



## ご意見をお寄せください

自治労京都府本部では、組合員のみなさんのご意見を募集しています。組合のこと、機関紙のことなど、たくさんのご意見をお待ちしています。  
TEL.075-252-5932 FAX.075-231-4918  
E-mail : jichiro@jichiro-kyoto.gr.jp  
http://www.jichiro-kyoto.gr.jp/

## 自治労きょうと

発行所・自治労京都府本部 〒604-0867 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側N・H・Kビル2F  
TEL.075-252-5932・FAX.075-231-4918 発行人・岡本哲也 編集人・森本尚秀  
定価 一部10円 本紙の購読料は組合費に含まれています。

毎月1日、15日発行

3 / 1  
2025

第892号

# どうして? 新規採用者の組合加入

## 府本部なかまづくり大作戦で事例共有



▲コミュニケーションゲーム「ITO」を楽しむ参加者

府本部は、次世代の労働運動を担う人材の育成を目的に「ユニオンカルツジ」に取り組んでいる。その一環として、4月に入店する新規採用職員の組合加入対策を目的として、2月22日京都商工會議所で「府本部なかまづくり大作戦」を開催した。はじめにユニオンカルツジを代表して小笠原（久御山町職）さんの開会あいさつ後、増永府本部書記長から「労働組合の歴史、必要性な助け合いから始まった効果組合の歴史、必要性な

員の世代を超えたコミュニケーションを図る例などを紹介。一つの目標を達成するために、情報共

有や話し合いが必要となる

ニケーションを図る例として、「ITO」という

ゲームを楽しみながら、交流を図った。

4月に入店する新規採用者の労働組合加入の促進にむけた活動報告を受けた。

最後に、新採と組合役員の世代を超えたコミュニケ



府本部第182回中央委員会

## 2025春闘・参議院選挙などの方針確認

冒頭、岡本委員長は、「昨年の確定闘争では、部役員の補充など2つの議案が確認された。出席中央委員は、16単組34人で女性参画率は26・47%となつた。

府本部は2月13日、第182回中央委員会を京都商工会議所で開催。2025春闘を中心とする当面の闘争方針や府本部役員の補充など2つの議案が確認された。出席中央委員は、冒頭、岡本委員長は、金引上げだけでなく、人頭確保や長時間労働の是正、ハラスメント防止などを確認された。出席中央委員は、求書をまとめ、実現をめぐの自治体単組で年内の総選挙の影響で給与法案の成立が遅れたものの多くの自治体単組で年内の給与条例の成立が実現できた。国基準では地域手当が引き下がる単組でも、中央本部の働きかけにより特別交付税の減額措置を回避し、給与改定の迅速化を図ることがでてきた。2025春闘について、1月22日には連合本部と経団連のトップ会談が行われ、中小企業の賃上げを推進することが確認された。これは公務員給与にも影響する。賃

▼石橋中央委員（京都府国保労組）：府本部社会保障制度検討委員会の開催に感謝。被用者保険の適用拡大について学習し、すべての労働者が国民健康保険から社会保険に移行する可能性がある

▼高橋中央委員（八幡市職労）：①会計年度任用職員の4月遡及を今年度の交渉で実現した。未加入の非正規職員にも周知し、組合加入をめざす。

▼増永書記長（国保）：1月29日に社会保障制度検討委員会を開催した。全国国保協の西山議長が

より、市町村の国保財政が逼迫し、住民負担の増加が懸念される。今後の委員会への各自治体単組の参加を呼びかける。

▼高橋中央委員（八幡市職労）：①会計年度任用職員の4月遡及を今年度の交渉で実現した。未加入の非正規職員にも周知し、組合加入をめざす。

▼増永書記長（国保）：1月29日に社会保障制度検討委員会を開催した。全国国保協の西山議長が

より、市町村の国保財政が逼迫し、住民負担の増加が懸念される。今後の委員会への各自治体単組の

参加を呼びかける。

▼増永書記長（国保）：1月29日に社会保障制度検討委員会を開催した。全国国保協の西山議長が

より、市町村の国保財政が逼迫し、住民負担の増加が懸念される。今

